

【山崎主宰の俳句】

ささらほうさら

山崎 聰

戦前の亀のごとくに生きて冬  
雪国雪見るともなしに人体図  
京都から白い人来る冬が来る  
さみしさは無明の谷の雪だるま  
ふくろうに吉野はやさし峠  
降る雪のささらほうさらよぼろくぼ

よぼろくぼ臆

ビードロのうすくらがりの寒さかな  
てのひらを雪虫が這う疲れけり  
雲のような少年といる冬座敷  
寒月の極みのいろを巖の上